

第 14 回菊池ふるさとかるた大会実施要項

1 趣 旨

菊池市青少年市民会議では、青少年健全育成の一環として、生まれ育った故郷への想いと誇りを持つ菊池市の青少年の育成のために、平成 19 年度に「菊池ふるさとかるた」を作成しました。本市の未来を担う青少年が、かるたを通して自らが生まれ育つ故郷に残る多くの名所、旧跡、産物、伝説等の「お宝」に関する学習を深めることにより、生まれ育った故郷への想いと誇りを高めることを願って作成されました。

この「菊池ふるさとかるた大会」は、このことを踏まえて、菊池市の子どもたちがさらに故郷への想いを高めるとともに、かるたへの愛着を深めることを目的とします。さらに大会を通して子どもたちが交流を深め、学び合う機会とします。

そして、今後「豊かな自然環境や歴史を活かし、人のやさしさでつくりあげるまちづくり」を進めるための大きな原動力となるものと考えています。

2 主 催 菊池市青少年育成市民会議、菊池市教育委員会

3 主 管 菊池ふるさとかるた大会実行委員会

4 日 時 令和 6 年 12 月 7 日（土）午前 9 時 30 分開会
受付：午前 9 時 00 分から

5 会 場 菊池市総合体育館 サブアリーナ

6 対象者 菊池市在住の小学生

7 参加チーム

1 チーム 3 名（選手登録は 4 名でも可）による小学校単位の団体戦とし、低学年の部（3 年生以下）と高学年の部（4 年生以上）とに分かれます。

また、参加チーム数の上限は、各小学校より各部 2 チームまでとします。

8 審判員 第 14 回菊池ふるさとかるた大会審判員

9 組み合わせ

違うチームと 2 回ずつ対戦します。また、2 チーム参加する学校同士が対戦しないように、二組に分けて抽選します。

なお、対戦表は、参加チーム数の確定後に作成しますので、抽選会の折にお知らせします。また、大会当日に会場内に掲示します。

10 競技方法

第 14 回菊池ふるさとかるた大会競技規程（以下、競技規程）によります。

11 表 彰

各部上位 3 チームを表彰します。同順の場合は競技規程により決定します。

12 申込期限 令和 6 年 10 月 31 日（木）

13 申込方法

小学校からの申し込みに限ることとし、別紙様式「第 14 回菊池ふるさとかるた大会参加申込書」に必要事項を記入のうえ、菊池市青少年育成市民会議事務局へ F A X 又は電子メールで送信してください。

なお、選手が申込期限までに決まらない場合は、参加選手の欄を空白のまま申し込むことができることとし、選手が決まり次第、再度参加申込書を提出してください。（11 月 8 日まで）

14 申し込み及び問い合わせ先

菊池市青少年育成市民会議事務局（教育委員会生涯学習課）

菊池市隈府 888 番地

TEL : 25-7232 / FAX : 25-5004

15 組合せ

ふるさとかるた大会実行委員会事務局内で抽選を行います。

16 その他

- (1) 選手の送迎については、保護者等をお願いします。
- (2) 流行性疾病の拡大等が生じた場合は、大会を中止することとし、態度決定については、大会の約 1 週間前に開催する実行委員会において、最終決定を行います。
- (3) 大会開会式での選手宣誓は、前回大会の高学年の部優勝校より出場する高学年の部の 1 チーム（3 名または 4 名）の選手とします。
- (4) 大会当日は、上靴（体育館シューズ）での入場となります。
- (5) 本実施要項に記載のない事項については、原則として実行委員会で協議のうえ決定します。

第 14 回菊池ふるさとかるた大会競技規程

《 競技上の心がけ 》

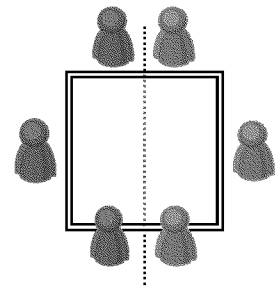
勝敗ばかりにこだわらずに、菊池市の様々な文化的財産について、学ぶことの大切さを忘れないで下さい。また、競技にあたっては、心のふれあいを大切に、仲良く、礼儀正しく、ルールを守って行いましょう。

1 コートの配置

大会会場を東西に2分し、西側を低学年用コート、東側を高学年用コートとする。また、それぞれのコートを北から南への順にA～Eの5つに細分化し、計 10 コートを配置して実施する。

2 選手の配置

各コートには、絵札配置用の台紙（赤布）【低学年の部、高学年の部とも、100 センチメートル四方】を設置するので、選手は、中央線を境にして3名ずつ配置につくこと。また、配置についたら正座して指示を待つこと。（右図と【別紙2】絵札配置図の1選手及び審判員の配置図参照）



なお、試合の途中での配置の交代及び選手の交代（4名登録のあるチーム）はできません。

3 絵札の配置

各コートの審判員は、詠み手の合図で、全部の絵札 46 枚をよく切ってから、中心線を境として、各 23 枚をチームの中央に位置する選手から見て上向きになるように4段（上から6枚、6枚、6枚、5枚）に均等になるよう並べること。（【別紙2】絵札配置図の2絵札の配置図(1)最初を参照）

4 記憶時間

それぞれの自陣に絵札を並べ終わったら、詠み手の合図があるまで、絵札を憶える。記憶時間は30秒とする。

5 競 技

(1) あいさつ

詠み手の指示に従い、試合の始めと終わりにお互いにあいさつを行う。

(2) 競 技

試合ごとに、会場に審判長1名、詠み手1名、司会1名を、各コートに主任1名、審判員1名、審判補助員1名を配置する。

順次、詠み手が読み札の読み上げを行い、競技を進める。

絵札が残り10枚になったら、審判員は残った札を段が変わらないように中央に寄せ配置する。（【別紙2】2絵札の配置図（2）残り10枚を参照）

絵札が残り2枚になったら、審判員は競技台紙上の中央線の上に2枚を30cm程度離し、反対向きになる様に配置し直し、それぞれのチームの真ん中に位置する選手が、代表として最後の競技を行う。なお、最後の競技で札を獲得したチームが残り1枚の札も獲得することとする。（【別紙2】絵札配置図の2絵札の配置図（3）残り2枚を参照）

(3) 「お手つき」の取り扱いについて

読まれた札と関係のない札に手を触れた場合は、「お手つき」とする。審判員は「お手つき」と判断した場合は、対象チームに「お手つき」を宣告することとし、競技は

そのまま続けることとする。

また、複数の者が「お手つき」した場合は、最初に「お手つき」した者のチームのみを「お手つき」とする。(従って、1つの札につき「お手つき」は1回となる。)

なお、試合終了後、審判員の指示により、「お手つき」の回数だけ減点し、相手チームに加点することとする。

(4) 採点方法

チームの持ち札を1枚につき1点と計算する。最終的に「お手つき」の回数を減点(加点)し、チームの得点とする。

(5) 順位決定の方法

順位決定の方法は以下のとおりとする。

①優勝・準優勝・第3位を表彰する。

②順位の決定については、2試合終了時点で、勝ち点の高い順とする。

(勝ち「3点」、引き分け「1点」、負け「0点」)

③勝ち点数が同点の場合は、2試合の合計得点が高い順とする。

④勝ち点数・合計得点共に同点の場合は、2試合の取った枚数の合計が高い順とする。

⑤上記②③④でも同点の場合は、順位決定戦は行なわず、同順位として表彰する。

(6) 競技上の注意事項

① 太鼓が鳴ったあと、読み札が読まれるまでは、両手は膝の上に置くこと。また、膝より前に顔や手を出してはならない。

② 札をとるときは、審判がし易いようにできるだけ手の平で押さえて取る。極端に、はじいたり、押したり、引いたりしない。札に早く触れたチームが札を獲得する。
また、両手を使ったり、札の上にかぶさったりするなど妨害行為を行ってはならない。(違反した場合は、相手の得点になることもあります。)

③ 審判員及び審判補助員の指示に必ず従うこと。なお、審判員等の指示に従わない場合は、減点または失格等の罰則を科すことがある。

④ 原則として、チーム選手名簿の4名以外は、そのチームの試合に参加できない。

6 その他

○ 変更等で新に周知すべき事項が生じた場合は、その都度、菊池市青少年育成市民会議事務局より小学校へ周知する。

「菊池ふるさとかるた大会」 競技進行表

第1試合

《事前》

(審判、審判補助員) 競技コートの設置、赤旗白旗、絵札(46枚)の確認、
対戦結果表の確認、選手の誘導

(読み手) 読み札をよく切り、10枚を台上に用意した入れ物に置いておく。

(選手) コートに着いたら、パズルマットに座って静かに待つ。

(司会) 進行用原稿の確認と競技前のアナウンス

《競技》

- 1 選手の配置の完了(選手が揃っていないとき、審判補助員は赤旗を上げ、司会に知らせる。※揃ったら赤旗を下す。)
- 2 絵札の配置(審判と審判補助員)※絵札の配置が遅れたら赤旗を上げ司会に知らせる。※揃ったら赤旗を下す。
- 3 絵札の場所を記憶する。(司会が30秒計測)
- 4 あいさつを交わす。(読み手が合図し「よろしくお願いします」と言う。)
- 5 審判補助員の動作の確認(司会が白旗を上げ・下げさせる。)
- 6 審判長補佐は、審判補助員が全員白旗を上げたら、青旗を上げる。
- 7 太鼓を打つ。(審判長は準備完了の青旗を確認し太鼓を一打する。)
- 8 本番(1枚目)①かるた読み ②終了
- 9 本番(2枚目～36枚目)①司会「コート確認」②白旗上げ ③青旗上げ
④太鼓(白旗下げ) ⑤かるた読み ⑥終了
※トラブル発生時は赤旗を上げる。
- 10 残り10枚 ①絵札の中央寄せ(審判)②「コート確認」③白旗上げ
④青旗上げ ⑤太鼓(白旗下げ) ⑥かるた読み ⑦終了
- 11 残り2枚 ①絵札並べ(審判)②司会「コート確認」③白旗上げ ④青旗上げ
⑤太鼓 ⑥かるた読み ※読み上げ終了(45枚目を獲得したチームが残り札も獲得)
- 12 競技終了
- 13 得点集計作業 ①獲得枚数数えと報告 ②お手つき回数の差を加点・減点
③総得点の「対戦結果表への記入」④両チーム代表の確認(○印)
⑤競技調整係へ提出(※赤旗で知らせる)→大会本部
⑥白旗で終了の合図
- 14 終わりのあいさつ(読み手が合図して「ありがとうございました」と言う。)

《事後》

（選手） 上靴を履き、各学校の待機場所に帰る。（審判も必要に応じ誘導する。）

第 2 試合

《事前》《競技》《事後》 （第 1 試合に同じ）

※休憩（15 分）

第 3 試合

《事前》《競技》《事後》 （第 1 試合に同じ）

第 4 試合

《事前》《競技》《事後》 （第 1 試合に同じ）

得点集計作業

※順位決定の方法

順位決定の方法は以下のとおりとする。

- ①優勝・準優勝・第 3 位を表彰する。
- ②順位の決定については、2 試合終了時点で、勝ち点の高い順とする。
（勝ち「3 点」、引き分け「1 点」、負け「0 点」）
- ③勝ち点数が同点の場合は、2 試合の合計得点が高い順とする。
- ④勝ち点数・合計得点共に同点の場合は、2 試合の取った枚数の合計が高い順とする。
- ⑤上記②③④でも同点の場合は、順位決定戦は行なわず、同順位として表彰する。

第14回菊池ふるさとかるた大会タイムスケジュール（案）

と き：令和6年12月7日（土）

ところ：菊池市総合体育館サブアリーナ

時刻	内 容	摘 要
8:25	スタッフ集合（総合体育館前）	※ 参加賞の配布 ※ 前回大会トロフィー返還 レプリカ（盾）授与 1 低学年の部 ① 令和5年度優 勝（菊之池小A） ② 〃 準優勝（隈府小A） ③ 〃 第3位（洒水小A） 2 高学年の部 令和5年度優 勝（隈府小A） ① 〃 準優勝（洒水小A） ② 〃 第3位（旭志小A）
8:30	開 場	
8:40	競技審判員等打合せ（審判長）	
9:00	受 付：チーム代表者（選手）	
9:10	各小学校担当者打合せ（事務局）	
9:30	開会行事（進行 事務局：中嶋）	
	1 開会の言葉（実行委員長）	
	2 主催者あいさつ（音光寺以章 教育長）	
	3 来賓紹介	
	4 トロフィー返還	
	5 競技上の注意（審判長）	
	6 選手宣誓（隈府小 代表 3～4名）	
	※ 前回大会高学年の部優勝校から高学年の部の1チーム	
9:50	コート設置、選手移動	※ 1試合の時間を20分と想定 （前回大会の実績より）
10:00	競技開始①（第1試合） （選手移動）	
10:25	競技開始②（第2試合） （選手移動および休憩 10分）	
11:00	競技開始③（第3試合） （選手移動）	
11:25	競技開始④（第4試合）	
11:50	得点集計、コート撤去	※ 集計後、同位チームが複数あった場合は、順位決定戦を行う。
12:05	閉会行事（進行 事務局：中嶋）	
	1 成績発表（事務局）	
	2 表彰（副実行委員長）	
	3 講評（音光寺以章 教育長）	
12:30	4 閉会のことば（実行委員）	
	解 散 ※解散後スタッフによる後片付け	

